

令和5年度 国際理解ワークショップ タイトル・要旨一覧

大学名	関連SDGs	タイトル	要旨	WS形式 (対面・オンライン・どちらも可)	複数回シリーズ ※回数や内容は 要相談※	代表者名
新潟国際情報 大学	4・10・16・17番	それってあなたの見え方ですよね。 ～その情報、ホントに正しい？～	近年の情報社会の発展に伴い、メディアの影響力が強まっている。しかし、その情報は本当に正しいのだろうか？私たちのワークショップでは、実際に起きた出来事を取り上げて、複数の情報を多角的かつ批判的に読み解くことの重要性について学ぶ。それを通じて、参加者たちが周りに流されずに自分たちの考えを持つための第一歩にしたい。 【主な対象：中学生～高校生】	両方		南雲 結夏
	16番	あなたのメガネは何色メガネ？ ～みんなで創る思いやりの世界～	これまで、周りの目を気にして、したいことが出来なかった経験はないだろうか。その原因の一つとして、他者からの評価を過度に恐れてしまうことも挙げられるだろう。本ワークショップでは、自分や相手の深い部分と直接つながるコミュニケーションの方法を参加者と共に学び、相手や自分に対する評価に縛られずに、参加者が自分らしく生きることを大切にできるようになるきっかけとしたい。	対面のみ	可	西潟 有貴
	10・16・17番	Colorful Worlds ～大切なものを認め合おう～	ヒンドゥー教徒が「牛を食べない」のは牛が神聖な動物であると信じているからだ。しかし、時として、それを知らうとしなければ、単なる「好き嫌い」にすぎないと勘違いしてしまう可能性がある。そこで、本ワークショップでは、文化の背景にある個々人にとっての「宗教」について考える。様々な文化が入り混じる現代社会で自分らしく生きるために、1人1人の違いには背景があることを理解し、違いを認める大切さを共に学びたい。	対面のみ		杉本 彩華
	1・4・10番	私には夢がある 「I HAVE A DREAM！」 ～全ての子どもたちに教育を～	ユネスコによると、2021年時点で、世界には約2.5億人の子供達が学校に通えておらず、様々な要因で教育格差が生じている。この教育格差は、所得格差や貧困、そしてそれが再び教育格差を引き起こす。この負の連鎖から抜け出すために、本ワークショップでは、途上国に見られる教育格差を中心に、今を生きている私たちにできることを参加者と共に考えたい。 【主な対象：小学校高学年～高校生】	対面のみ		鈴木 遥夢
敬和学園 大学	10・16番	世界中で「自由」って当たり前？ ～民主主義と私たちの権利の大切さを考えよう～	日本に住んでいる私たちにとって身近な存在である民主主義。誰も取り残さない、自由に自分の意見を言える、対話で解決し平和に向かうための手段です。民主主義は市民が当事者意識を持ち社会に参画することで守られます。日本の民主主義について理解し、なぜ関心を持ち参画することが大切であるかを考えるワークショップです。	両方		太刀川 圭音
	11・16番	「あなたの権利」を知っていますか？ ～世界中の子どもが持つ権利、あなたがあなたを主張する権利～	子どもの権利は皆が平等に持っているものですが、守られているものも守られていないものもあるのです。それは世界の子どもは守られていても日本の子どもが守られていないこともありますし、隣の席同士のあなたたちでも守られている権利が違ったりもします。意外と知られていない皆さんの権利について知り、権利を守り実現する方法について考えてみましょう。	両方		山口 めい
新潟県立 大学	4番	スタートラインは一緒にすべき？ ～誰でも挑戦できる環境の必要性～ 【英語実施】	日本は恵まれた国だという印象を持ちがちだが、実際は社会的構造による格差が存在する。その一つが教育機会の格差である。この格差は本人の意思とは関係なく教育の機会を奪い、次世代にも繋がり社会的悪循環を生み出す。本ワークショップは日本における教育格差に注目し、格差のない社会を目指すには何が必要か、様々な例を踏まえて参加者とともに考えたい。 【主な対象：高校生】	対面のみ	可	勝俣 優弥
	2・11・12番	おいしく！完食！ ～食品ロス“ゼロ”のシェフになろう～	普段食べている料理に着目し、食品ロスの現状や地産地消の重要性を伝える。学生にとって身近な給食や新潟の食文化に触れ、食べ物に関する知識や関心を増やすことで食品ロス問題の当事者意識を高める。	対面のみ		山本 小春
	12・14番	目の前の資源を見直してみよう ～そのゴミは燃えるゴミ？プラスチック？～	今日、リサイクルや脱プラスチックといった言葉がよく聞かれるが、2020年時点で日本のリサイクル率は20%。世界でのプラスチック廃棄物のリサイクル率はわずか9%である。このワークショップではプラスチックを中心に資源とリサイクルの現状について伝え、これからの地球のために私たちにできることは何かを参加者と考えていきたい。	対面のみ		木村 まり杏
新潟大学	3・4・10・16番	ここがちがう！ここがおなじ！ ～日本と世界の学校生活～	様々な文化背景を持つ人が共に暮らすためには、お互いの文化を理解し、尊重することが必要である。ここでは、児童生徒たちに身近である学校生活に焦点を当て、移民が増え、グローバル化が進み、日本の学校に通う異文化の子どもが増加している現在において、文化の違いやあるいは共通点に注目することで相互の文化理解に繋げ、児童生徒たちと一緒に共生について考えていく。	対面のみ	可	佐藤 知佳
	3・6・10・11番	世界の水問題と私たちの未来	世界には水道が普及していなかったり、水質が汚染されたりして困っている国がたくさんある。グループワークでは「水道を作るとしたらどのような問題が起こり得るか」「水質が悪いとどうなるか」という内容を扱い、授業の随所に組み込む。また、ワークショップ内で実際に20L(2Lのペットボトル×10本)の水を持ってもらい、その重量や大変さを体験させる。	対面のみ		菅野 由空
	3・10・11番	「誰も取り残さない」防災を目指して ～外国人対応について考えよう～	日本は災害大国であり、多種多様な災害が起こっている。ガイドラインの策定やその周知など災害時の対応は進んでいるが、外国人への災害時の対応はまだまだ改善の余地がある。そこで、本ワークショップを通して世界の災害事情を踏まえつつ、日本人だけでなく外国人も取り残されない防災を実現するにはどうすればいいかを考えてもらう。	対面のみ	可	山岸 虹太
上越教育 大学	1・8・10・12・15番	安い服と高い服の違いは？	みなさんはどんなお店で私服を買っていますか？その服が、どこで作られ、どんな流れで皆さんの手元に届いているかを知っていますか？世の中には、手ごろな値段で買える服もあれば、高級ブランド品もあります。その違いがどうして生まれているのか。その陰でどんなことが起きているのか、みなさんと一緒に考えてみましょう。	対面のみ		相田 翔平